

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	リハビリテーション医学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	(9) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	前中尾絵梨香	実務経験と その関連資格	理学療法士として、病院・介護施設・訪問看護ステーションなどで15年以上			
《授業科目における学習内容》						
<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションとは何か。病期による関わり方の違いを考える ・リハビリテーションの対象となる疾患の概要について理解する ・リハビリテーションにとって必須となる福祉用具や介助方法についてふれる 						
《成績評価の方法と基準》						
試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
リハビリテーションビジュアルブック						
《授業外における学習方法》						
配付資料の空欄部分を中心に復習すること						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの急性期～維持期までの流れや違いを理解する		PC		
	各コマにおける授業予定	リハビリテーションの様々な側面を知り、病期による関わり方やチームでのアプローチについて学習する。				
第2回	授業を通じての到達目標	リハビリテーション対象疾患の概要について理解する		PC		
	各コマにおける授業予定	動画なども見ながら疾患ごとの動作の違い、リハビリの内容などについて学習する				
第3回	授業を通じての到達目標	リハビリテーション対象疾患の概要について理解する		PC		
	各コマにおける授業予定	動画なども見ながら疾患ごとの動作の違い、リハビリの内容などについて学習する				
第4回	授業を通じての到達目標	リハビリテーション対象疾患の概要について理解する		PC		
	各コマにおける授業予定	事前に課題として各疾患の発表グループを決定。学生の課題発表の場とする				
第5回	授業を通じての到達目標	福祉用具や介助方法について理解する		PC		
	各コマにおける授業予定	リハビリテーションにおいて必須となる福祉用具の紹介と介助方法について				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	実習の振り返り	PC	
	各コマにおける授業予定	グループワーク		
第7回	授業を通じての到達目標	合併疾患の概要について理解する	PC	
	各コマにおける授業予定	内科的疾患・整形疾患などSTとしての対象とはなりにくい疾患の概要について学ぶ。また、学ぶ意味を考える。		
第8回	授業を通じての到達目標	合併疾患の概要について理解する	PC	
	各コマにおける授業予定	内科的疾患・整形疾患などSTとしての対象とはなりにくい疾患の概要について学ぶ。また、学ぶ意味を考える。		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			